



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成26年5月9日

上場取引所 東 札

上場会社名 サッポロホールディングス株式会社

コード番号 2501 URL <http://www.sapporoholdings.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上條 努

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 梅里 俊彦

TEL 03-5423-7407

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	112,084	11.5	△1,726	—	△2,348	—	△3,815	—
25年12月期第1四半期	100,498	3.2	△4,755	—	△5,191	—	△3,068	—

(注)包括利益 26年12月期第1四半期 △5,994百万円 (—%) 25年12月期第1四半期 4,050百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	△9.78	—
25年12月期第1四半期	△7.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第1四半期	589,998	146,545	24.2	366.07
25年12月期	616,752	155,366	24.6	388.77

(参考)自己資本 26年12月期第1四半期 142,822百万円 25年12月期 151,683百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	7.00	7.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	537,700	5.5	15,000	△2.2	13,600	△10.1	5,000	△47.1	12.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期1Q	393,971,493 株	25年12月期	393,971,493 株
② 期末自己株式数	3,820,894 株	25年12月期	3,805,058 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	390,155,704 株	25年12月期1Q	391,378,116 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) 重要な後発事象に関する注記	12

○第 1 四半期決算短信補足説明資料

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成26年1月1日～平成26年3月31日)の日本経済は、金融緩和や経済対策を背景に、緩やかに回復の兆しを見せましたが、消費環境は、消費税増税を控えた3月に駆け込み需要による伸びを見せたものの、4月以降の仮需反動及び増税に伴う消費低迷も予想され、依然不透明な状況にあります。

このような経済環境のもと、当社グループの売上高は、国内酒類事業でビール類の売上数量が年初より前期を上回って推移したことに加え、3月の駆け込み需要もあり前年同期を大きく上回りました。また、食品・飲料事業でも売上数量が食品、飲料ともに前年同期を上回ったことに加え、国際事業で円安の影響もあり、グループ全体で大幅な増収となりました。

営業損益は、国内酒類事業に加え、食品・飲料事業の増収もあり、損失幅が大幅に縮小しました。

その結果、連結売上高1,120億円(前年同期比115億円、12%増)、営業損失17億円(前年同期は47億円の損失)、経常損失23億円(前年同期は51億円の損失)となりました。特別損失に、不動産事業で銀座四丁目交差点に位置する「サッポロ銀座ビル」の再開発に伴う解体、撤去費用等を23億円計上した結果、四半期純損失は38億円(前年同期は30億円の損失)となりました。

以下、事業セグメント別の概況は記載のとおりです。

[季節性要因による影響について]

当社グループの業績は、国内酒類、国際、食品・飲料、外食事業の需要が特に夏に集中することから、大きな季節変動があり、当第1四半期連結累計期間においては、売上高が他の四半期と比較して低くなる傾向があります。

〔国内酒類事業〕

当第1四半期連結累計期間のビール類総需要は、前年同期比109%程度であったものと推定されます。特に3月には消費税増税前の駆け込み需要が生じたこともあり、ビール、発泡酒、新ジャンルの各ジャンルとも、前年同期を大きく上回る需要となった模様です。

このような中で、国内酒類事業は、当期より新たな経営ビジョンとして「オンリーワンを積み重ね、No.1へ」を掲げ、「乾杯をもっとおいしく。」をコミュニケーションメッセージに据えながら、当社グループならではの価値の提供を積み重ねることで、更なる成長を目指しています。

ビール類では、エビスブランドにおいて、「エビスビール」の好調に加え、前年に引き続き「薫り華やぐエビス」を1月に数量限定発売し、同ブランドの売上数量は前年同期を大きく上回りました。新ジャンルでは、従来の「麦とホップ」がますますおいしくなり進化した「麦とホップ The gold」を2月に発売し、お客様から多くの支持をいただきました。また、世界初のプリン体0.00mgを実現した新ジャンル「極ZERO(ゴクゼロ)」も計画を大きく上回る売上数量となりました。これらの結果、ビール類合計の売上数量は前年同期を大きく上回ったほか、総需要の前年同期も上回り、市場シェアもアップしました。

RTD(※)では、2月に「サッポロ ネクターサワー ピーチ」をリニューアル発売し、売上は好調に推移しました。また、前年に発売した「サッポロ男梅サワー」は引き続きご好評をいただいています。その結果、RTD全体の売上高は前年同期を大きく上回りました。

ワインでは、国産プレミアムワインブランド「グランボレール」が引き続きご好評をいただきました。また、若い女性を中心に人気が高まりつつあるサングリアの新商品「ボレール サングリア リコ」を3月に新発売し、計画を上回る好調な売上となりました。輸入ワインの売上高も前年同期を上回り好調に推移し、ワイン全体の売上高は前年同期を上回りました。

洋酒では、「バカルディ社」商品各種が、売上高の増加に寄与しました。

焼酎では、焼酎甲類乙類混和市場において、「芋焼酎 こくいも」と「麦焼酎 こいむぎ」が引き続きご好評をいただき、売上高は前年同期を大きく上回りました。

以上の結果、国内酒類事業の売上高は592億円(前年同期比90億円、18%増)と増加したことに加え、引き続きコストコントロールにも努め、営業損失は11億円(前年同期は33億円の損失)となりました。

※RTD: Ready To Drinkの略。栓を開けてそのまま飲める低アルコール飲料

〔国際事業〕

北米においては、雇用情勢の改善など明るい動きがみられるものの、ビール市場の総需要はおおむね横ばいに留まったものと推定されます。一方、経済成長力の高いアジアのビール市場は、引き続き順調に成長を続けています。

このような中で、国際事業は、強みとするプレミアムビール市場に対し引き続き積極的な販売活動を行いました。カナダでは同業他社との価格競争の激化、そしてアメリカでは寒波の影響による配送遅延により、「スリーマン社」及び「サッポロUSA社」の「サッポロ」ブランドの売上数量が低調に推移しました。「シルバー スプリングス シトラス社」は、北米市場の飲料事業において堅調に業績が推移しています。

ベトナムでは、「サッポロ」ブランド構築に向けてフルマーケティングを続け、テト(旧正月)商戦期間を中心にTVCMを放映し、お客様からご好評をいただいています。韓国では、業務提携先である「メール乳業社」のグループ会社を活用して、同国内の家庭用及び業務用市場のビール販売強化の取り組みを続けています。オセアニアでは、「クーパーズ社」とのライセンス生産を核として同市場での販売強化に取り組みました。シンガポールでは、グループ内のシンガポール子会社と協働して同国内の家庭用市場への販路を拡大しています。これらの取り組みにより、北米以外のビールの売上数量は前年同期を上回りました。

以上の結果、国際事業の売上高は、北米の売上数量が前年同期を下回ったものの、円安の影響もあり、104億円(前期同期比4億円、5%増)となり、営業損失は8億円(前年同期は1億円の損失)となりました。

〔食品・飲料事業〕

国内飲料総需要は、大雪の影響があったものの、消費税増税前の駆け込み需要もあり、前年同期比106%で推移したものと推定されます。また、レモン食品(調味料)は前年同期比100%で、インスタントスープ(カップスープ含む)は前年同期比106%であったものと推定されます。

このような中で、食品・飲料事業は、「ポッカサッポロフード&ビバレッジ社」が統合後2年目を迎え、主力ブランドへ投資を集中し、ブランドの強化と育成を図りました。

国内食品飲料は、国内飲料ブランドカテゴリーにおいては、コーヒー飲料の「ポッカコーヒー 低糖」の発売や、北海道限定の「ポッカコーヒー ファイターズ缶」の発売なども寄与し、売上は堅調に推移しました。「がぶ飲み」シリーズは、新フレーバーの「がぶ飲み いちごクリームソーダ」を発売したこともあり、全体では好調に推移しました。レモン・ナチュラルフードカテゴリーにおいては、3月に「キレートレモン スパークリング410ml PET」を夏向けにリニューアル発売し、引き続きご好評をいただきました。基幹ブランド「ポッカレモン100」については、デザインを刷新し、好調に推移しました。新商品の10%レモン果汁入り飲料「ポッカレモン Lemotte」も、常温保存可能であることから、様々なシーンでお使いいただいています。海外ブランドカテゴリーにおいては、ドイツ産天然炭酸水「ゲロルシュタイナー」に加え、ナチュラルミネラルウォーターの「ヴィッテル」と「コントレックス」の取り扱いを1月より開始し、国内での硬水市場活性化を図りました。スープ・食品カテゴリーにおいては、「じっくりコトコト こんがりパン」シリーズの品揃えを強化したこともあり、好調に推移しました。業務用カテゴリーでは、基幹商材であるレモンや飲料が安定して推移したほか、スープ、デザートなども順調に伸張し、全体として前年同期を上回って推移しました。新規カテゴリーにおいては、介護生活を応援する商品として粉末タイプの玄米茶「少臭麗茶」を発売しました。

国内外食は、コーヒーショップ「カフェ・ド・クリエ」が、大雪の影響を受けたものの、スピーディーなメニューの改廃により、既存店売上は堅調に推移しました。

海外飲料は、シンガポール国内での販売がやや苦戦しましたが、輸出が引き続き好調に推移し、全体では堅調に推移しました。

海外外食は、香港国内の景気減退の影響、また中国本土からの観光客の減少等の影響を受け、やや低調に推移しました。

以上の結果、食品・飲料事業の売上高は298億円(前年同期比21億円、8%増)となり、営業損失は7億円(前年同期は18億円の損失)となりました。

〔外食事業〕

国内外食業界は、消費マインドに一部回復の兆しは見られるものの、円安に伴う原材料価格の上昇やエネルギーコストの上昇など、コスト面での負担が増すなど依然として厳しい経営環境にあります。

このような中で、外食事業は、経営理念である「JOY OF LIVING～生きている喜び～」のもと、生ビール・料理・サービスの品質向上に取り組み、「お客様へ100%満足の提供」を目指す店舗づくりを進めています。

新規出店においては、主軸ブランドの一つとなった「エビスパー」業態を新宿に出店したほか、受託店舗を含む7店舗を出店しました。

また、既存店の収益改善策として小型の「銀座ライオン」への業態転換を行ったほか、新業態となる「恵比壽ビヤホール」への業態転換を行い顧客層の拡大を進めました。

一方、「サッポロ銀座ビル」の再開発に伴い、基幹店舗である「ビヤホールライオン 銀座五丁目店」の長期休業を含む9店舗を閉鎖したことにより、当期末の店舗数は188店舗となりました。

海外においては、シンガポールにて前年10月に開店した「GINZA LION BEER HALL」が順調に推移し、次なる展開に向けて取り組みを進めております。

以上の結果、外食事業の売上高は、2月の大雪の影響もあり56億円(前年同期比0億円、1%減)となり、営業損失は3億円(前年同期は3億円の損失)となりました。

〔不動産事業〕

不動産業界は、首都圏オフィス賃貸市場において、空室率は改善傾向が継続したとともに、賃料水準についても緩やかながら改善の兆しが見られるようになりました。

このような中で、不動産賃貸事業において、首都圏を中心とする保有物件にて、引き続き高稼働率を維持しました。中核施設である「恵比寿ガーデンプレイス」においては、5月に大型テナントの賃貸契約の終了が予定されている中、早期の稼働回復に向けた後継テナントのリーシングも順調に進捗しました。

また、「恵比寿ガーデンプレイス」では、平成26年に開業20周年を迎えるにあたり、これまで以上に、お客様に「豊かな時間」、「豊かな空間」を感じていただける「街」となるべく、バリューアップに取り組みました。商業フロアでは、4月の大型高級レストラン開店に合わせ、共用フロアを大幅に改装しました。賃貸住宅では、エントランスを中心にグレードアップを図るとともに、バリアフリー化や居室内の設備刷新等、快適性向上のための改装を推進しました。オフィスでは、災害発生時にオフィステナントの事業継続をサポートする非常用発電設備が3月に完成し、テナント専有部への電力供給体制が整備されるとともに、平成27年春の完成に向けて災害発生時にトイレやエレベーター等の稼働を可能とするための設備導入に着手しました。また、オフィスレイアウトの設計自由度の向上と快適な執務環境のための設備改修、グレードアップのための共用フロアの改装等を推進しました。

不動産開発では、恵比寿地区の新たな拠点として平成26年秋に竣工予定である「(仮称)サッポロ恵比寿ビル」の再開発工事が順調に進捗し、また、銀座四丁目交差点に位置する「サッポロ銀座ビル」の再開発では、発展する銀座の街の活性化と賑わい創出へ貢献していくために、平成28年上期の竣工に向けた再開発を意思決定しました。

以上の結果、不動産事業の売上高は56億円(前年同期比2億円、4%増)となり、営業利益は22億円(前年同期比1億円、6%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

連結財政状態

当第1四半期連結会計期間末における資産は、商品及び製品、建設仮勘定の増加等があった一方、受取手形及び売掛金の減少等によって、前連結会計年度末と比較して267億円減少し、5,899億円となりました。

負債は、賞与引当金、長期借入金の増加等があった一方、支払手形及び買掛金、未払酒税の減少等によって、前連結会計年度末と比較して179億円減少し、4,434億円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定の減少に加え、期末配当の実施、当四半期連結累計期間の四半期純損失の計上等によって、前連結会計年度末と比較して88億円減少し、1,465億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年12月期の通期連結業績予想につきましては、平成26年2月12日に発表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（損失）に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,552	10,717
受取手形及び売掛金	87,148	62,951
商品及び製品	20,832	22,826
原材料及び貯蔵品	13,552	12,901
その他	14,479	15,667
貸倒引当金	△228	△208
流動資産合計	147,336	124,855
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	390,326	387,848
減価償却累計額	△212,741	△211,718
建物及び構築物 (純額)	177,585	176,129
機械装置及び運搬具	218,275	218,897
減価償却累計額	△176,691	△177,283
機械装置及び運搬具 (純額)	41,583	41,614
土地	115,056	115,063
建設仮勘定	5,668	7,054
その他	37,757	37,235
減価償却累計額	△24,768	△24,473
その他 (純額)	12,988	12,762
有形固定資産合計	352,882	352,623
無形固定資産		
のれん	34,418	33,329
その他	7,566	6,830
無形固定資産合計	41,985	40,159
投資その他の資産		
投資有価証券	51,221	49,814
長期貸付金	9,544	9,281
その他	15,109	14,587
貸倒引当金	△1,326	△1,324
投資その他の資産合計	74,548	72,359
固定資産合計	469,416	465,143
資産合計	616,752	589,998

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,902	31,712
短期借入金	63,642	64,052
コマーシャル・ペーパー	25,000	22,000
未払酒税	33,700	18,343
未払法人税等	3,837	507
賞与引当金	2,090	4,071
預り金	10,824	10,872
その他	52,309	57,616
流動負債合計	227,308	209,176
固定負債		
社債	52,000	52,000
長期借入金	107,185	108,966
退職給付引当金	5,907	5,584
受入保証金	32,423	32,764
その他	36,561	34,962
固定負債合計	234,077	234,276
負債合計	461,386	443,453
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,886	53,886
資本剰余金	45,911	45,911
利益剰余金	37,409	30,774
自己株式	△1,311	△1,317
株主資本合計	135,896	129,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,467	14,290
繰延ヘッジ損益	4	△1
為替換算調整勘定	314	△721
その他の包括利益累計額合計	15,786	13,567
少数株主持分	3,683	3,722
純資産合計	155,366	146,545
負債純資産合計	616,752	589,998

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	100,498	112,084
売上原価	65,785	73,215
売上総利益	34,712	38,869
販売費及び一般管理費		
販売奨励金及び手数料	6,780	7,583
広告宣伝費	6,005	5,846
給料及び手当	7,158	7,046
賞与引当金繰入額	1,352	1,360
退職給付費用	857	763
その他	17,312	17,994
販売費及び一般管理費合計	39,467	40,596
営業損失(△)	△4,755	△1,726
営業外収益		
受取利息	62	58
受取配当金	66	95
為替差益	339	-
その他	268	176
営業外収益合計	735	331
営業外費用		
支払利息	734	619
持分法による投資損失	63	8
為替差損	-	90
その他	374	234
営業外費用合計	1,172	953
経常損失(△)	△5,191	△2,348
特別利益		
固定資産売却益	10	36
投資有価証券売却益	3,477	4
特別利益合計	3,487	41
特別損失		
固定資産除却損	129	1,110
固定資産売却損	-	43
投資有価証券評価損	6	10
投資有価証券売却損	0	-
減損損失	222	-
事業構造改善費用	176	-
支払補償費	-	1,540
特別損失合計	536	2,704
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,240	△5,012
法人税等	806	△1,103
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,047	△3,908
少数株主利益又は少数株主損失(△)	21	△93
四半期純損失(△)	△3,068	△3,815

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△3,047	△3,908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,900	△1,176
繰延ヘッジ損益	19	△12
為替換算調整勘定	2,178	△896
その他の包括利益合計	7,098	△2,086
四半期包括利益	4,050	△5,994
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,770	△6,034
少数株主に係る四半期包括利益	280	40

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[セグメント情報]

I. 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 財務諸表計 上額 (注2)
	国内酒類	国際	食品・飲料	外食	不動産	計				
売上高										
外部顧客への売上高	50,246	9,953	27,637	5,741	5,391	98,969	1,528	100,498	-	100,498
セグメント間の内部売上高 又は振替高	444	15	27	0	641	1,130	3,895	5,025	△5,025	-
計	50,691	9,969	27,664	5,741	6,032	100,100	5,423	105,523	△5,025	100,498
セグメント利益又は損失(△)	△3,348	△190	△1,892	△318	2,135	△3,615	△135	△3,751	△1,003	△4,755

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

セグメント損失(△)	金額
報告セグメント計	△3,615
「その他」の区分の損失(△)	△135
全社費用(注)	△781
セグメント間取引消去	△222
四半期連結財務諸表の営業損失(△)	△4,755

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国際事業」セグメントにおいて、生産拠点再編に伴い、機械装置等の固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては222百万円であります。

(のれんの金額の重要な変更)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 財務諸表計 上額 (注2)
	国内酒類	国際	食品・飲料	外食	不動産	計				
売上高										
外部顧客への売上高	59,249	10,440	29,801	5,674	5,608	110,775	1,309	112,084	-	112,084
セグメント間の内部売上高又は振替高	497	21	28	0	647	1,195	4,281	5,477	△5,477	-
計	59,747	10,462	29,830	5,674	6,255	111,970	5,591	117,562	△5,477	112,084
セグメント利益又は損失(△)	△1,138	△891	△771	△333	2,264	△870	10	△859	△867	△1,726

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

セグメント利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	△870
「その他」の区分の利益	10
全社費用(注)	△855
セグメント間取引消去	△12
四半期連結財務諸表の営業損失(△)	△1,726

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変更)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。



平成26年（2014年）12月期 第1四半期決算短信補足説明資料

【第1四半期決算】

1. 財務ハイライト
 2. 主な売上数量・金額
 3. 平成26年度第1四半期（連結）損益計算書
国内酒類売上明細
 4. 平成26年度第1四半期（連結）損益計算書 主な増減要因
 5. 平成26年度第1四半期（連結）セグメント情報
 6. 平成26年度第1四半期（連結）貸借対照表
 7. 平成26年度セグメント変更概念図
- 【参考：業績見通し】 ※2月12日発表数値と変更なし
8. 平成26年度通期（連結）業績見通し
（連結）キャッシュフロー計算書（要約）
国内酒類売上明細
 9. 平成26年度通期（連結）損益計算書 主な増減要因
 10. 平成26年度通期（連結）セグメント情報

2014年5月

サッポロホールディングス株式会社

コード番号 2501

URL <http://www.sapporoholdings.jp>

財務ハイライト（平成22年～平成26年）

第1四半期連結決算

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
売上高（億円）	酒税込み	771	720	973	1,004	1,120
	酒税抜き	549	517	763	794	880
売上高海外比率（%）	酒税抜き	9.6%	10.6%	12.7%	19.4%	22.0%
営業利益（億円）	のれん償却前	▲33	▲30	▲46	▲37	▲7
	のれん償却後	▲35	▲33	▲55	▲47	▲17
営業利益率（%）	対酒税込み・のれん償却後	-	-	-	-	-
	対酒税抜き・のれん償却前	-	-	-	-	-
	対酒税抜き・のれん償却後	-	-	-	-	-
経常利益（億円）		▲41	▲40	▲58	▲51	▲23
当期純利益（億円）		▲29	▲62	▲41	▲30	▲38
総資産（億円）		4,988	5,329	5,819	5,845	5,899
純資産（億円）		1,156	1,197	1,225	1,348	1,465
金融負債残高（億円） （※1）	Gross	2,109	2,213	2,663	2,619	2,470
	Net	1,964	2,068	2,566	2,519	2,363
D/Eレシオ（倍）	Gross	1.8	1.8	2.2	1.9	1.7
	Net	1.7	1.7	2.1	1.9	1.6
減価償却費（億円）		56	49	63	63	60
のれん償却費（億円）		2	3	9	10	9
EBITDA（億円）		23	19	16	25	53
為替換算レート（円） （※2）	US\$	90.70	82.32	79.36	92.47	102.78
	CAN\$	87.18	83.52	79.30	91.66	93.10

連結決算（通期）

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 （見通し）
売上高（億円）	酒税込み	3,892	4,494	4,924	5,098	5,377
	酒税抜き	2,698	3,368	3,797	3,953	4,301
売上高海外比率（%）	酒税抜き	9.4%	11.0%	14.1%	18.3%	19.7%
営業利益（億円）	のれん償却前	165	219	182	193	190
	のれん償却後	154	188	144	153	150
営業利益率（%）	対酒税込み・のれん償却後	4.0%	4.2%	2.9%	3.0%	2.8%
	対酒税抜き・のれん償却前	6.1%	6.5%	4.8%	4.9%	4.4%
	対酒税抜き・のれん償却後	5.7%	5.6%	3.8%	3.9%	3.5%
経常利益（億円）		143	168	136	151	136
当期純利益（億円）		107	31	53	94	50
総資産（億円）		4,947	5,507	5,976	6,167	
純資産（億円）		1,266	1,247	1,349	1,553	
金融負債残高（億円） （※1）	Gross	1,813	2,191	2,576	2,478	2,478
	Net	1,679	2,099	2,478	2,362	2,378
D/Eレシオ（倍）	Gross	1.4	1.8	1.9	1.6	1.6
	Net	1.3	1.7	1.8	1.5	1.5
設備投資（億円）		198	134	538	137	232
減価償却費（億円）		225	244	258	250	242
のれん償却費（億円）		11	31	38	39	40
EBITDA（億円）		390	464	440	443	432
ROE（%）	のれん償却前	9.8%	5.1%	7.3%	9.5%	5.9%
	のれん償却後	8.9%	2.5%	4.2%	6.7%	3.3%
EPS（円 銭）	のれん償却前	30.49	16.03	23.68	34.40	23.04
	のれん償却後	27.50	8.08	13.77	24.20	12.80
為替換算レート（円） （※2）	US\$	87.79	79.79	79.81	97.73	105.00
	CAN\$	85.18	80.74	79.83	94.81	101.00

※1：金融負債残高には商業ペーパーを含み、リース債務の残高は含んでおりません。

※2：為替レートは期中平均レートです。

主な売上数量・金額

国内酒類

(単位：万箱/大瓶換算、※RTDは250ml×24缶換算)

	平成25年度 1-3月実績	平成26年度 1-3月実績	前年比	平成26年度 年間見通し	平成25年度 実績	前年比
サッポロ生ビール黒ラベル	323	334	104%	1,662	1,662	100%
エビス計	147	167	113%	1,000	961	104%
①ビール計	530	557	105%	2,957	2,942	101%
②発泡酒計	25	24	96%	90	119	76%
③新ジャンル計	390	557	143%	2,232	2,147	104%
ビール・発泡酒・新ジャンル合計(①+②+③)	944	1,139	121%	5,280	5,208	101%
サッポロプレミアムアルコールフリー	24	16	66%	122	122	100%
RTD(※)	24	41	171%	137	143	96%

(単位：億円)

	平成25年度 1-3月実績	平成26年度 1-3月実績	前年比	平成26年度 年間見通し	平成25年度 実績	前年比
国産ワイン	11	14	124%	59	51	116%
輸入ワイン	15	17	111%	85	77	111%
ワイン計	27	31	116%	145	128	113%
洋酒計	10	12	117%	69	57	122%
焼酎計	29	35	124%	133	133	100%

海外ビール

(単位：万箱/大瓶換算)

	平成25年度 1-3月実績	平成26年度 1-3月実績	前年比	平成26年度 年間見通し	平成25年度 実績	前年比
スリーマン社(自社ブランド)(※1)	256	250	98%	1,330	1,246	107%
サッポロブランド	111	103	93%	530	447	119%

※1：スリーマン社の数字は、同社の製造・販売数量からサッポロブランドの委託生産分及びカナダ国内販売分を除いたもの

飲料水(ポッカサッポロフード&ビバレッジ)

(単位：万箱)

	平成25年度 1-3月実績	平成26年度 1-3月実績	前年比	平成26年度 年間見通し	平成25年度 実績	前年比
飲料水	872	921	106%	4,755	4,574	104%

平成26年度第1四半期決算（連結）

連結損益計算書（要約）

（単位：億円）

		平成25年度	平成26年度	増減	増減率
国内酒類事業	国内酒類事業	502	592	90	17.9%
	国際事業	99	104	4	4.9%
	食品・飲料事業	276	298	21	7.8%
	外食事業	57	56	▲0	▲1.2%
	不動産事業	53	56	2	4.0%
	その他	15	13	▲2	▲14.3%
売上高		1,004	1,120	115	11.5%
営業利益	国内酒類事業	▲33	▲11	22	—
	国際事業	▲1	▲8	▲7	—
	食品・飲料事業	▲18	▲7	11	—
	外食事業	▲3	▲3	▲0	—
	不動産事業	21	22	1	6.0%
	その他	▲1	0	1	—
営業利益		▲47	▲17	30	—
のれん償却前営業利益（※1）		▲37	▲7	29	—
経常利益	営業外収益	7	3	▲4	▲55.0%
	営業外費用	11	9	▲2	▲18.7%
経常利益		▲51	▲23	28	—
税引前利益	特別利益	34	0	▲34	▲98.8%
	特別損失	5	27	21	404.1%
税引前利益		▲22	▲50	▲27	—
当期純利益	法人税等	8	▲11	▲19	—
	少数株主損益	0	▲0	▲1	—
当期純利益		▲30	▲38	▲7	—

※1 のれん償却前営業利益のセグメント別の詳細については、補足説明資料-5、「セグメント情報」をご覧ください。

国内酒類売上明細

売上金額（酒税込み）

（単位：億円）

	平成25年度	平成26年度	増減	増減率
ビール	282	299	16	5.8%
発泡酒	9	9	▲0	▲3.8%
新ジャンル	127	183	56	43.8%
合計	420	492	72	17.2%

売上金額（酒税抜き）

（単位：億円）

	平成25年度	平成26年度	増減	増減率
ビール	135	143	8	6.4%
発泡酒	5	5	▲0	▲3.7%
新ジャンル	88	127	39	44.1%
合計	229	276	47	20.8%

平成26年度第1四半期決算（連結）

主な利益増減要因

▲は利益減少要因

（単位：億円）

増減要因		平成25年度	平成26年度	利益増減	内容
ビール等		▲35	▲11	24	
限界利益	(小計)			26	
	ビール・発泡酒・新ジャンル 数量差異・品種構成他			30	ビール販売数量増 +5 発泡酒販売数量減 ▲0 新ジャンル販売数量増 +24 品種構成他 +1
	その他			▲4	ノンアル、RTD、製造原価他
固定費その他	(小計)			▲2	
	販促費			▲4	販売奨励金他
	設備費			2	減価償却費他
	その他			1	一般経費他
ワイン・スピリッツ		2	▲0	▲2	
その他		0	▲0	▲1	
国内酒類事業		▲33	▲11	22	
北米他		2	▲3	▲5	
	数量差異・品種構成他			▲3	販売数量減（スリーマン98%他）
	マーケティング費用			▲3	主にスリーマン社
	その他			▲0	人件費、SSC社他
ベトナム		▲4	▲6	▲2	
	数量差異・品種構成他			0	販売数量減、品種構成他
	マーケティング投資			▲2	
	その他			▲0	人件費他
国際事業		▲1	▲8	▲7	
国内食品飲料		▲21	▲10	10	
	数量差異・品種構成他			7	販売数量増
	製造コスト			▲1	原材料減、製造コスト増他
	その他コスト			4	人件費、販売費減
	子会社			0	自販機オペレーター会社他
	その他	2	3	1	海外事業、外食事業他
食品・飲料事業		▲18	▲7	11	
	既存店			▲1	
	新設店・改装店他			1	
外食事業		▲3	▲3	▲0	
	賃貸			2	
	販売他			▲1	
不動産事業		21	22	1	
	食品事業			0	
	その他			0	保険事業、物流事業
その他		▲1	0	1	
全社		▲10	▲8	1	
営業利益		▲47	▲17	30	
のれん償却前営業利益 （※1）		▲37	▲7	29	
	金融収支	▲6	▲5	1	金利低減
	持分法投資損益	▲1	▲0	1	
	その他	2	▲1	▲4	
営業外収支		▲4	▲6	▲2	
経常利益		▲51	▲23	28	
	投資有価証券売却益	35	0	▲35	
	その他特別利益	0	0	0	
	固定資産売却除却損	▲1	▲12	▲10	
	減損損失	▲2	—	2	
	その他特別損失	▲2	▲16	▲14	
特別損益		30	▲27	▲56	
税引前利益		▲22	▲50	▲27	
法人税等・少数株主損益		▲8	11	19	
当期純利益		▲30	▲38	▲7	

※1 のれん償却前営業利益のセグメント別の詳細については、補足説明資料-5、「セグメント情報」をご覧ください。

※実績

	平成25年度	平成26年度
US\$	92.47	102.78
CAN\$	91.66	93.10
EUR	122.06	140.80

平成26年度第1四半期決算（セグメント情報）

（単位：億円）

平成25年度 第1四半期	国内酒類	国際	食品・飲料	外食	不動産	その他	消去又は全社	連結合計
売上高	502	99	276	57	53	15	—	1,004
営業利益	▲33	▲1	▲18	▲3	21	▲1	▲10	▲47
（のれん償却前営業利益）	▲33	1	▲11	▲3	21	▲1	▲10	▲37
販促費								
販売奨励金及び手数料	39	0	27	0	0	0	0	67
広告宣伝費	43	2	11	2	0	0	0	60
広告物品費	9	5	0	0	0	0	▲0	15
減価償却費	29	4	16	1	10	0	0	63
のれん償却費	0	3	6	0	0	0	0	10
EBITDA（※1）	▲4	5	4	▲1	32	▲1	▲10	25

平成26年度 第1四半期	国内酒類	国際	食品・飲料	外食	不動産	その他	消去又は全社	連結合計
売上高	592	104	298	56	56	13	—	1,120
営業利益	▲11	▲8	▲7	▲3	22	0	▲8	▲17
（のれん償却前営業利益）	▲11	▲5	▲1	▲3	22	0	▲8	▲7
販促費								
販売奨励金及び手数料	44	0	30	0	0	0	▲0	75
広告宣伝費	43	3	9	2	0	0	▲0	58
広告物品費	9	8	0	0	0	0	▲0	17
減価償却費	24	5	17	1	10	0	1	60
のれん償却費	0	3	6	0	0	0	0	9
EBITDA（※1）	13	▲0	15	▲1	33	0	▲7	52

増減額	国内酒類	国際	食品・飲料	外食	不動産	その他	消去又は全社	連結合計
売上高	90	4	21	▲0	2	▲2	—	115
営業利益	22	▲7	11	▲0	1	1	1	30
（のれん償却前営業利益）	22	▲6	10	▲0	1	1	1	29
販促費								
販売奨励金及び手数料	5	0	3	0	0	▲0	▲0	8
広告宣伝費	0	1	▲2	▲0	0	▲0	▲0	▲1
広告物品費	▲0	2	▲0	0	0	▲0	▲0	1
減価償却費	▲4	0	0	▲0	▲0	▲0	1	▲2
のれん償却費	0	0	▲0	0	0	0	0	▲0
EBITDA（※1）	17	▲6	11	▲0	0	1	2	26

※1 EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費にて算出しております。

平成24年度から「サッポログループマネジメント㈱」へのグループIT資産の移管に伴い、IT資産に係る減価償却費について、国内酒類事業と全社消去間で管理上の調整を行っております。なお、平成26年の調整額は5億円、平成25年の調整額は6億円になります。

平成26年度第1四半期決算（連結）

連結貸借対照表（要約）

（単位：億円）

	平成25年度末	平成26年度 第1四半期末	増減	主な理由
流動資産	1,473	1,248	▲ 224	
現預金	115	107	▲ 8	
売上債権	871	629	▲ 241	季節要因等
棚卸資産	343	357	13	
その他	142	154	12	
固定資産	4,694	4,651	▲ 42	
固定資産	3,604	3,594	▲ 9	
のれん	344	333	▲ 10	
投資等	745	723	▲ 21	
資産合計	6,167	5,899	▲ 267	
流動負債	2,273	2,091	▲ 181	
仕入債務	359	317	▲ 41	
短期金融負債	886	860	▲ 25	
預り金	108	108	0	
その他	919	805	▲ 113	未払酒税の減少
固定負債	2,340	2,342	1	
長期金融負債	1,591	1,609	17	
退職給付引当金	59	55	▲ 3	
その他	689	677	▲ 12	
負債合計	4,613	4,434	▲ 179	
株主資本	1,358	1,292	▲ 66	四半期純損失の計上及び配当金支払
その他の包括利益累計額	157	135	▲ 22	
少数株主持分	36	37	0	
純資産合計	1,553	1,465	▲ 88	
負債純資産合計	6,167	5,899	▲ 267	

セグメント別金融負債残高

（単位：億円）

	平成25年度末	平成26年度 第1四半期末	増減	主な理由
国内酒類	384	425	41	
国際	171	173	2	
食品・飲料	93	72	▲ 20	
外食	0	4	4	
不動産	1,376	1,404	28	
その他	29	24	▲ 4	
全社又は消去	423	364	▲ 58	
連結合計	2,478	2,470	▲ 8	

平成26年度 セグメント変更概念図

平成26年度については、セグメントの変更はありません。
報告セグメントの利益は「営業利益」である為、下記の表からは持分法適用関連会社を除いております。

平成25年度 セグメント		平成26年度 セグメント	
区分	連結子会社	区分	連結子会社
国内酒類事業	サッポロビール(株)	国内酒類事業	サッポロビール(株)
	サッポロワイン(株)		サッポロワイン(株)
	(株)恵比寿ワインマート		(株)恵比寿ワインマート
	(株)楽丸酒造		(株)楽丸酒造
	サッポロエンジニアリング(株)		サッポロエンジニアリング(株)
	スターネット(株)		スターネット(株)
	(株)ニュー三幸		(株)ニュー三幸
	(株)新星苑 (新規連結)		(株)新星苑
国際事業	サッポロインターナショナル(株)	国際事業	サッポロインターナショナル(株)
	SAPPORO U.S.A., INC.		SAPPORO U.S.A., INC.
	SAPPORO CANADA INC.		SAPPORO CANADA INC.
	SLEEMAN BREWERIES LTD.		SLEEMAN BREWERIES LTD.
	Sapporo Asia Private Limited		Sapporo Asia Private Limited
	Sapporo Vietnam Limited		Sapporo Vietnam Limited
	Silver Springs Citrus, Inc.		Silver Springs Citrus, Inc.
食品・飲料事業	ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)	食品・飲料事業	ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)
	(株)ポッカクリエイト		(株)ポッカクリエイト
	(株)P Sビバレッジ (新設会社)		(株)P Sビバレッジ (※1)
	ステラビバレッジサービス(株)		スタービバレッジサービス(株)
	サンポッカ(株)		Pokka Corporation (Singapore) Pte. Ltd.
	(株)サンポッカイースト (※1)		Pokka International Pte. Ltd. (※2)
	東京サンポッカ(株)		他10社
	近畿サンポッカ(株)		
	スタービバレッジサービス(株)		
	Pokka Corporation (Singapore) Pte. Ltd.		
Pokka Sales & Marketing Pte. Ltd. (※2)			
他10社			
外食事業	(株)サッポロライオン	外食事業	(株)サッポロライオン
	Sapporo Lion (Singapore) Pte. Ltd.		Sapporo Lion (Singapore) Pte. Ltd.
不動産事業	サッポロ不動産開発(株)	不動産事業	サッポロ不動産開発(株)
	YGPリアルエステート(株)		YGPリアルエステート(株)
	サッポロ都市開発(株)		サッポロ都市開発(株)
	(株)東京エネルギーサービス		(株)東京エネルギーサービス
	(株)サッポロススポーツプラザ		(株)サッポロススポーツプラザ
(株)横浜恵和ビルディング	(株)横浜恵和ビルディング		
その他	サッポロフーズネット(株)	その他	サッポロフーズネット(株)
	サッポロファインフーズ(株)		サッポロファインフーズ(株)
	サッポログループマネジメント(株)		サッポログループマネジメント(株)
	サッポログループ物流(株)		サッポログループ物流(株)
	サッポロ流通システム(株)		サッポロ流通システム(株)
消去又は全社	サッポロホールディングス(株) サッポログループマネジメント(株)	消去又は全社	サッポロホールディングス(株) サッポログループマネジメント(株)

※1 平成26年1月1日付にて、「ステラビバレッジサービス(株)」、「サンポッカ(株)」、「(株)サンポッカイースト」、「東京サンポッカ(株)」、「近畿サンポッカ(株)」は、「(株)P Sビバレッジ」との間で吸収合併を行い、消滅いたしました。

※2 平成26年1月1日付にて、「Pokka Sales & Marketing Pte. Ltd.」は、商号を「Pokka International Pte. Ltd.」に変更しております。

平成26年度業績見通し（連結）

※2月12日発表数値と変更ありません。

連結損益計算書（要約）

（単位：億円）

	平成25年度	平成26年度 見通し	増減	増減率
国内酒類事業	2,749	2,843	93	3.4%
国際事業	482	572	89	18.6%
食品・飲料事業	1,306	1,400	93	7.1%
外食事業	268	281	12	4.7%
不動産事業	227	223	▲4	▲2.1%
その他	64	58	▲6	▲10.0%
売上高	5,098	5,377	278	5.5%
国内酒類事業	99	90	▲9	▲9.1%
国際事業	12	11	▲1	▲9.0%
食品・飲料事業	▲14	1	15	—
外食事業	4	10	5	140.7%
不動産事業	86	72	▲14	▲17.1%
その他	2	2	▲0	▲13.5%
全社	▲36	▲36	0	—
営業利益	153	150	▲3	▲2.2%
のれん償却前営業利益（※1）	193	190	▲3	▲1.7%
営業外収益	32	23	▲9	▲28.5%
営業外費用	34	37	2	7.8%
経常利益	151	136	▲15	▲10.1%
特別利益	35	0	▲35	▲100.0%
特別損失	21	33	11	55.6%
税引前利益	165	103	▲62	▲37.8%
法人税等	71	54	▲17	▲24.4%
少数株主損益	▲0	▲1	▲0	—
当期純利益	94	50	▲44	▲47.1%

※1 のれん償却前営業利益のセグメント別の詳細については、補足説明資料-10.「セグメント情報」をご覧ください。

連結キャッシュフロー計算書（要約）

	平成25年度	平成26年度 見通し	増減	増減率
営業活動によるキャッシュフロー	328	297	▲31	▲9.6%
投資活動によるキャッシュフロー	▲132	▲270	▲137	—
フリーキャッシュフロー	195	27	▲168	▲86.2%

国内酒類売上明細

売上金額（酒税込み）

（単位：億円）

	平成25年度	平成26年度 見通し	増減	増減率
ビール	1,597	1,601	4	0.3%
発泡酒	45	34	▲11	▲24.2%
新ジャンル	707	735	27	3.9%
合計	2,350	2,371	20	0.9%

売上金額（酒税抜き）

（単位：億円）

	平成25年度	平成26年度 見通し	増減	増減率
ビール	778	779	0	0.1%
発泡酒	25	17	▲8	▲31.4%
新ジャンル	489	509	19	4.1%
合計	1,293	1,306	12	1.0%

平成26年度業績見通し（連結）

※2月12日発表数値と変更ありません。

主な利益増減要因 ▲は利益減少要因

（単位：億円）

	増減要因	平成25年度	平成26年度 見通し	利益増減	内容
ビール等		84	67	▲17	
限界利益	(小計)			15	
	ビール・発泡酒・新ジャンル 数量差異・品種構成他			14	ビール販売数量増 +3 発泡酒販売数量減 ▲3 新ジャンル販売数量増 +12 品種構成他 +2
	その他			1	ノンアル、RTD、製造原価他
固定費その他	(小計)			▲32	
	販促費			▲37	
	設備費			0	
	その他			5	
ワイン・スピリッツ		13	19	5	
その他		2	4	3	
国内酒類事業		99	90	▲9	
北米他		30	34	4	
	数量差異・品種構成他			12	数量増（スリーマン107%、サッポロ112%）
	マーケティング費用			▲5	スリーマン社・USA社増
	その他			▲3	
ベトナム		▲18	▲23	▲4	
	数量差異・品種構成他			5	数量増
	マーケティング投資			▲7	
	その他			▲2	減価償却費ほか
国際事業		12	11	▲1	
国内食品飲料		▲23	▲8	15	
	数量差異・品種構成他			14	販売数量増
	製造コスト			▲4	生産コスト増他
	その他コスト			5	
その他		9	9	▲0	海外事業、外食事業他
食品・飲料事業		▲14	1	15	
	既存店			4	
	新設店・改装店他			2	
外食事業		4	10	5	
	賃貸			▲15	
	販売他			0	
不動産事業		86	72	▲14	
	物流事業			▲0	
	その他			0	保険事業
その他		2	2	▲0	
全社		▲36	▲36	0	
営業利益		153	150	▲3	
のれん償却前営業利益	(※1)	193	190	▲3	
	金融収支	▲17	▲19	▲1	金利低減
	持分法投資損益	1	2	1	
	その他	14	4	▲10	
営業外収支		▲2	▲13	▲11	
経常利益		151	136	▲15	
	投資有価証券売却益	35	—	▲35	
	その他特別利益	1	—	▲1	
	固定資産売却除却損	▲14	▲7	8	
	減損損失	▲4	—	4	
	その他特別損失	▲3	▲26	▲23	
特別損益		14	▲33	▲47	
税引前利益		165	103	▲62	
法人税等・少数株主損益		▲71	▲53	18	
当期純利益		94	50	▲44	

※1 のれん償却前営業利益のセグメント別の詳細については、補足説明資料-10「セグメント情報」をご覧ください。

	平成25年度	平成26年度見通し
US\$	97.73	105.00
CAN\$	94.81	101.00
EUR	129.78	130.00

平成26年度業績見通し（セグメント情報）

※2月12日発表数値と変更ありません。

（単位：億円）

平成25年度	国内酒類	国際	食品・飲料	外食	不動産	その他	消去又は全社	連結合計
売上高	2,749	482	1,306	268	227	64	—	5,098
営業利益	99	12	▲14	4	86	2	▲36	153
（のれん償却前営業利益）	99	24	12	4	87	2	▲36	193
販促費								
販売奨励金及び手数料	198	2	130	0	0	0	▲1	330
広告宣伝費	140	14	44	9	3	0	▲0	212
広告物品費	37	27	0	0	0	0	▲0	64
減価償却費	107	18	67	6	44	0	5	250
のれん償却費	0	12	27	0	0	0	0	39
EBITDA（※1）	206	43	80	10	131	3	▲30	443
設備投資（支払ベース）	23	23	46	7	26	0	10	137
リース債務の支払額	0	2	34	0	0	5	0	42

平成26年度 見通し	国内酒類	国際	食品・飲料	外食	不動産	その他	消去又は全社	連結合計
売上高	2,843	572	1,400	281	223	58	—	5,377
営業利益	90	11	1	10	72	2	▲36	150
（のれん償却前営業利益）	90	25	27	10	72	2	▲36	190
減価償却費	104	23	61	6	43	1	4	242
のれん償却費	0	14	26	0	0	0	0	40
EBITDA（※1）	194	48	88	16	115	3	▲32	432
設備投資（支払ベース）	53	18	56	13	81	1	10	232
リース債務の支払額	0	0	33	0	0	0	0	33

増減見込額	国内酒類	国際	食品・飲料	外食	不動産	その他	消去又は全社	連結合計
売上高	93	89	93	12	▲4	▲6	0	278
営業利益	▲9	▲1	15	5	▲14	▲0	0	▲3
（のれん償却前営業利益）	▲9	0	14	5	▲15	▲0	0	▲3
減価償却費	▲3	4	▲6	▲0	▲1	0	▲1	▲8
のれん償却費	0	1	▲1	0	▲0	0	0	0
EBITDA（※1）	▲12	4	7	5	▲16	▲0	▲1	▲11
設備投資（支払ベース）	29	▲5	9	5	54	0	▲0	94
リース債務の支払額	0	▲2	▲1	0	0	▲5	0	▲9

※1：EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費にて算出しております。

※2：販促費の通期見通しにつきましては開示しておりません。